

## 【プレスリリース】

2026年3月10日  
公益財団法人日本デザイン振興会

# 2040年までにWOOD LIFEを実現する木と生活と都市のデザイン展 「TOKYO WOOD LIFE 2040 山と木と東京」 丸の内・有楽町エリアの4会場で5月1日より開催

公益財団法人日本デザイン振興会（以下、JDP／所在地：東京都港区）は、三菱地所株式会社（所在地：東京都千代田区）の特別協賛により、3回目となる企画展「TOKYO WOOD LIFE 2040 山と木と東京」を2026年5月1日（金）より5月31日（日）まで開催します。

人工林の循環が保たれず荒廃が進んでいる日本の山林と都市の関係に注目し、建築やデザイン、人とコミュニティの力で、楽しみながら2040年までに東京の生活を「WOOD LIFE」に変えてゆく方策を展望し、丸の内から発信します。

### ■ 本年の注目ポイント

- ① 映像で「山と木と生きること」を体験する「山と木の映画祭」を初開催
- ② 最新の都市木造の技術とデザインを知る！「都市木造スタジオ2026」
- ③ 全国の山から森のめぐみを直送！「有楽町モクイチ」
- ④ 森から都市建築までの大きな循環、公園の木から始まる小さな循環を体感する「東京ウッドラボ」
- ⑤ 東京の山と木と木造建築に触れる「エクスカージョン」を初開催
- ⑥ 建築家・内藤廣の木造デザインに迫る！「フォーラム」

### ■ 「TOKYO WOOD LIFE 2040 山と木と東京」開催概要

会期：2026年5月1日（金） - 5月31日（日） \*第3・4会場は5月9日（土）-10日（日）

実施企画：

第1会場 「都市木造スタジオ2026」GOOD DESIGN Marunouchi（千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル1F）

第2会場 「東京ウッドラボ」新東京ビル 1Fロビー（千代田区丸の内3-3-1）

第3会場 「有楽町モクイチ」東京国際フォーラム ロビーギャラリー（千代田区丸の内3-5-1）

第4会場 「山と木の映画祭」東京国際フォーラム ホールD1（千代田区丸の内3-5-1）

フォーラム 「山と木と東京フォーラム」コンファレンススクエア M+ サクセス（千代田区丸の内2-5-2）

クロージング 「山と木と東京の未来を語ろう」

フォーラム 3×3Lab Future（千代田区大手町1-1-2 大手門タワー・ENEOSビル 1F）

全会場入場無料／エクスカージョンおよびスタンプラリーを実施予定

ディレクター：

井上岳一（日本総研 創発戦略センター チーフスペシャリスト／武蔵野美術大学 客員研究員）／

内海彩（株式会社内海彩・長谷川龍友建築設計事務所 代表取締役／NPO法人team Timberize 理事）／

腰原幹雄（東京大学生産技術研究所教授／NPO法人team Timberize 理事）／

若杉浩一（武蔵野美術大学 教授／ソーシャルクリエイティブ研究所 所長）

デザイナー：DO.DO. 原田圭（空間）／パワープレイス株式会社 下妻賢司（グラフィック）

主催：公益財団法人日本デザイン振興会

特別協賛：三菱地所株式会社 協力：NPO法人 team Timberize・日本全国スギダラケ倶楽部 ほか



2025年開催時の様子  
来場実績：延べ 13,415名（32日間）

## ■ 第1会場 「都市木造スタジオ2026 - 木を魅せるデザイン」

会場:GOOD DESIGN Marunouchi(千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル1F)

トーク・交流会(5/11-15 19:00-21:30):DMO東京丸の内(千代田区丸の内3-2-3 丸の内二重橋ビル6F)

中高層の木造建築「都市木造」の最新プロジェクトを定点観測する展覧会。今年は、内装・外構・屋上活用など、ユーザーとの接点となる部分における木材利用に注目し、日本を代表する設計会社、建設会社のデザインと技術を紹介し、5月11日-15日には各社設計担当者によるトークイベントと交流会を実施。

出展企業:鹿島建設株式会社/清水建設株式会社/株式会社竹中工務店/株式会社日建設計/  
株式会社ブルースタジオ/株式会社三菱地所設計/ほか



(昨年の会場)

## ■ 第2会場 「東京ウッドラボ」

会場:新東京ビル1Fロビー(千代田区丸の内3-3-1)

日本の森林の課題と、その解決策として都市で木を使うためのあれこれを可視化します。丸太から都市の建築までの「大きな循環」と、地域の木を手入れしながらさまざまに利用する「小さな循環」を両立することでうまれる「WOOD LIFE」を研究します。

協力:都市森林株式会社

## ■ 第3会場 「有楽町モクイチ」(木のマルシェ)

会期:2026年5月9日(土)・10日(日) 11:00-17:00 会場:東京国際フォーラム ロビーギャラリー

全国の木材産地、林業関係団体や事業者が出展し、地域の特色ある木材や木製品、山からの加工品を販売します。出展者との交流も楽しめます。入場無料、予約不要でどなたでもご購入いただけます。



(昨年の会場)

## ■ 第4会場 「山と木の映画祭」

会期:2026年5月9日(土)・10日(日) 11:00-19:30 会場:東京国際フォーラム D1

入場・観覧無料(事前予約制)/4月初旬よりPEATIXで受付開始

全国の山林や林業、山の生活をテーマにした「山と木」の映画を、2日間で計11本上映します。

1日2回、監督や関係者を招いたディレクターズトークでは企画や撮影の背景についてもお聞きします。

上映作品:「FOREST TRAIL」「飢肥杉の一生」「劇場版 クマと民主主義」「森聞き」(以上ディレクタートーク開催予定)など 計11本



(「FOREST TRAIL」)

## ■ エクスカーション

会期中随時開催(事前予約制)/4月初旬よりPEATIXで受付開始

「都市木造」の現場視察のほか、地域の活動拠点に訪問し、東京に暮らす私たち自身が、東京の山と木をどのように活用できるのか、東京の木を循環させるためのコミュニティの作り方などを体験して学びます。

実施予定先:OS melia(中野区東中野)、東京チェンソーズ(檜原村)ほか計8箇所程度を予定

## ■ TOKYO WOOD LIFE 2040 山と木と東京 フォーラム

日程:2026年5月8日(金) 会場:コンファレンススクエア M+ サクセス(千代田区丸の内 2-5-2)

入場無料/4月初旬よりPEATIXで参加申し込み受付開始

### 第1部 13:30-15:15 「大径材を利用する都市木造 [建築で山の少子高齢化に対応する]」

パネリスト:安原幹氏(SALHAUS共同主宰/東京大学大学院工学系研究科 准教授)/鈴木道和氏(北海殖産株式会社 北海道出張所 取締役所長)/  
鈴木柁司氏(株式会社ダイテック 企画営業部 部長)

### 第2部 16:00-17:45 「多様な木で作る地域の都市木造 [建築で森の多様性を包摂する]」

パネリスト:秋吉浩気氏(VUILD株式会社)/小柳雄平氏(森林パートナーズ株式会社)/緒方祐磨氏(株式会社三菱地所設計)

### 第3部 18:30-20:30 「木造建築の技術とデザインを聞く」

登壇:内藤廣氏(内藤廣建築設計事務所)・岡村仁氏(株式会社KAP)

## ■ クロージング フォーラム「山と木と東京の未来を語ろう」

日時:2026年5月30日(土) 17:00-18:30 会場:3×3 Lab Future(千代田区大手町1-1-2 大手門タワー・ENEOSビル 1F)

入場無料/4月初旬よりPEATIXで参加申し込み受付開始

登壇:小坂善太郎氏(林野庁長官)・宿本尚吾氏(国土交通省 住宅局 局長)